

今回は、大宮区の市立大宮北小学校の取組を御紹介します。
大宮北小学校では、地域の方々の御協力のもと、様々な活動に取り組んでいます。



【北の茶話会・ふれあい会食会】

＜北の茶話会・ふれあい会食会への参加＞

大宮北地区社会福祉協議会が大宮北公民館で行っている「北の茶話会」・「ふれあい会食会」へ1年生から4年生の児童(186名)が参加し、学年ごとの音楽演奏を通して地域の高齢者と交流しています。大宮北地区社会福祉協議会・大宮北公民館・大宮北小学校の協働活動として毎年実施しているもので、昔の歌・英語の歌・童謡・ダンス・校歌等を披露し、共に歌い合ったり、手拍子したり、楽しい時間となっています。子ども・高齢者・地域のみなさん、それぞれにとって好評で、お互いの関係を深めています。

＜大宮氷川神社参道清掃＞

昨年11月に大宮氷川神社の御協力のもと、大宮北中学校の1年生と大宮北小学校全校児童が共に大宮氷川神社の参道を清掃しました。地域を清掃することによって、地域社会を知り、地域に愛着をもって、社会に奉仕する気持ちや態度の育成をねらいとしています。これまで縦割り活動の一環として行ってきましたが、昨年度からは、小・中一貫教育の交流活動、地域と連携・協働した活動として実施することができました。大宮北小学校の校庭に集合し、顔合わせを行い出発します。グループごとに区域を担当し、中学生と声をかけ合いながら落ち葉を集め、参道をきれいにしました。



【大宮氷川神社参道清掃】

＜放課後チャレンジスクール 座禅体験教室＞

大宮北小学校と隣接するお寺(東光寺)にて、御住職の指導による座禅体験教室を実施しています。チャレンジスクールのボランティアスタッフと子どもたちは建物の見学を行った後、御住職に「心」についての講話をしていただきます。その後、みんなで「座禅」を体験します。足の組み方や座り方等、基本的な所作を学び、一人ひとりが「座禅」の時間を味わいます。静寂な時間の中で、自分の心と向き合う体験は、好評で、親子で参加する家庭もあります。地域の施設を理解し、地域と触れ合うよい機会となっています。



【放課後チャレンジスクール 座禅体験教室】

大宮北小学校の取組からは、高齢者や地域の方との交流、また、小・中一貫教育の交流活動を通して、子どもたちが地域社会の中で豊かな心をはぐくんでいる様子が伝わってきます。

今回は、浦和区在市立常盤中学校の取組を御紹介します。

常盤中学校では、部活動を通じ、地域の方々とともに生徒の成長を支える活動に取り組んでいます。



【「浦和まつり」での演奏の様子】

〈これぞ日本の夏！響け、俊英太鼓〉

俊英太鼓は本校の音楽部の生徒と有志で行っている活動です。

毎年、7月に行われる「浦和まつり」にて、ロイヤルパインズホテル浦和前の特設会場で、デモンストレーション及び神輿の出発・到着時の3回、演奏を行っています。

例年35℃を超える猛暑の中、生徒たちは、手にマメを作りながらも、掛け声も見事に太鼓をたたきます。特に、勇壮な太鼓演奏の中、神輿が会場に近づく場面は、「これぞ日本の夏」という感想をいただいています。地域の皆さん、関係者の方々楽しんでくださっている活動の一つです。

〈音楽部、科学部が夏まつりで多くの人を魅了！〉

7月に地元の北浦和5丁目の夏まつりに本校音楽部と科学部が参加しています。音楽部は、夏の暑さを忘れさせる魅力的な歌声や演奏を披露します。大勢の方々から感嘆の拍手や何度ものアンコールの声をいただいています。

また、科学部は、「サイエンス・イリュージョン」を行います。お揃いの白衣に身を包んだ科学部の生徒たちが、空気砲で大量のカップを吹き飛ばしたり、三角形や四角形のシャボン玉を大量に飛ばしたりすると、小学生や園児は、大喜びでステージにかじりついてきます。



【「サイエンス・イリュージョン」の様子】

〈新聞文芸部、年末年始「振り込め詐欺防止キャンペーン」〉

昨年12月26日（水）に浦和警察署と埼玉りそな銀行北浦和西口支店の協力のもと「振り込め詐欺防止キャンペーン」を実施しました。新聞文芸部が「振り込め詐欺」の手口をリーフレットにまとめ、銀行に訪れた方々に配布しました。また、同支店の店内及びATMコーナーに、部員が作成したのぼり旗とリーフレットを1月中旬まで設置して、「振り込め詐欺」が増える年末年始の注意喚起を行いました。期間中、本校の保護者だけでなくたくさんの地域の方々からも声をかけられるなど、地域貢献について考える良い経験ができました。



【リーフレット配布の様子】

常盤中学校での取組から、地域や企業など多くの方々を支えられながら、学校内ではできない様々な活動を通して、地域に貢献するとともに、豊かな心をはぐくんでいる様子がうかがえます。



「地域学校協働活動推進シンポジウム」及び「さいたま市教育委員会感謝状贈呈式」を開催しました。

＜地域学校協働活動推進シンポジウム＞

令和元年 11 月 20 日（水）に、さいたま市の地域学校協働活動を推進するにあたり、学校と地域の連携・協働についての理解をより一層深めることを目的として、学校地域連携コーディネーター及びチャレンジスクール教室コーディネーターを対象とした「地域学校協働活動推進シンポジウム」を開催しました。当日は希望した学校長も含め 277 人と、大変多くの方に参加いただきました。

第 1 部では、「支援活動から協働活動へ～これまでの活動を振り返って～」をテーマに、チャレンジスクールを含めたこれまでのさいたま市における地域学校協働活動を振り返りました。

第 2 部では、「協働活動がもたらす子どもたちの未来・地域の未来～コーディネーターがつなぐ学校・家庭・地域の思い～」をテーマに、チャレンジスクール運営会議の溝口会長、チャレンジスクール支援事務局の高濱代表、さいたま市教育委員会細田教育長、さいたま市立小学校校長会並木会長、さいたま市中学校長会大谷会長、学校地域連携コーディネーターの代表として安藤学校地域連携コーディネーターをパネリストに迎え、パネルディスカッションを行いました。



【地域学校協働活動推進シンポジウムの様子】

子どもたちを取り巻く社会が大きく変化している中、「これからの地域学校協働活動は、子どもだけではなく、家庭や地域といった社会すべての人が輝けるものであるために、人と人との思いをつなぐコーディネーター力がより一層重要となる」といった、さいたま市の地域学校協働活動における今後の方向性や、コーディネーターとしての役割等について、パネリストそれぞれの立場からの熱い思いが語られました。参加者にとって、学校・家庭・地域が互いにパートナーとして連携・協働して地域の子どもたちを育てていくことの重要性を再認識する機会となりました。

＜さいたま市教育委員会感謝状贈呈式＞

令和元年 12 月 16 日（月）及び 17 日（火）の 2 日間、さいたま市立学校の教育活動等の充実及び発展に寄与し、多年にわたり、授業等における学習支援、登下校等安心・安全確保支援、環境整備支援、学校行事支援、チャレンジスクール等の活動を行っている方々に対し、感謝の意を表すため、「さいたま市教育委員会感謝状贈呈式」を開催しました。



【さいたま市教育委員会感謝状贈呈式の様子】
（令和元年 12 月 16 日）

本年度は 79 件（68 名、11 団体）の方が対象となりました。

教育長が一人ひとりに直接感謝状を贈呈し感謝の意を伝えたことで、被贈呈者の皆様は大変喜ばれていました。感謝状の贈呈後、全員で写真撮影を行いました。

地域学校協働活動とは、保護者、PTA、NPO、民間企業、行政機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。今後も、学校・家庭・地域・行政が連携・協働した活動を推進し、未来を担う子どもたちをはぐくむため、スクールサポートネットワークの充実を図ってまいりますので、引き続き皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

今回は、見沼区の市立大宮八幡中学校の取組を御紹介します。大宮八幡中学校は、平成 27 年度にさいたま市教育委員会から ESD※の研究指定を受けています。大宮八幡中学校では、ESD をとおして、地球規模で考え、足元から行動する生徒の育成に取り組んでいます。



【3校の協力】

＜「届けよう、服のチカラ」プロジェクトへの参加の継続＞

大宮八幡中学校は、環境、人権など世界的な課題を学び、身近なことから行動できる生徒の育成に取り組んでいます。

ユニクロ・ジーユーが実施している「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに学校として参加し、ユニクロの方から世界の難民の現状や子ども服の必要性について学び、子ども服を回収して難民などに届ける活動を継続しています。大谷小学校 PTA 主催の「大谷小ふれあいフェスタ」では、大谷小学校児童会、大谷中学校生徒会と連携・協力し、子ども服を回収しています。

＜さいたま市立五反田会館との交流＞

地域の人権教育施設「五反田会館」は、さいたま市中学生職場体験事業「未来（みら）くるワーク体験」等でもお世話になっている生徒に身近な施設です。五反田会館の文化祭では、人権標語を展示したり、合唱を披露したりしています。また、学校の合唱コンクールに、五反田会館を利用しているサークルの方々を招待しています。

更に、今年度は五反田会館主催の「子どもカレーパーティー」に生徒がボランティアとして参加し、小学生のグループに入ってカレー作りをはじめ、ゲームや工作に活躍しました。



【3年生が合唱を披露】

＜「ふるさと発見こどもまつり」への参加＞

毎年、青少年育成片柳地区会が主催している「ふるさと発見こどもまつり」は、隔年ごとに片柳小学校と海老沼小学校の校庭を会場にして、地域の多くの関係団体が参加して盛大に開催されています。

大宮八幡中学校は「わた菓子コーナー」を担当し、ボランティアの生徒が PTA のバックアップのもとで、わた菓子を作り、イラストを描いた袋に入れて子どもたちに笑顔で手渡ししています。地域との交流が深まる活動です。



【でき上がったわた菓子を手渡し】

大宮八幡中学校の取組から、地域との連携・協働をとおして、生徒を含め学校全体で、国内だけでなく地球規模で ESD の取組を行っていることが伺えます。

※ESD とは...

Education for Sustainable Development の略で、「持続可能な開発のための教育」と訳し、「持続可能な社会を支える担い手をはぐくむ教育」といった意味があります。世界には環境、平和、貧困、人権、食料など様々な問題がある中で、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、今生きている人だけでなく、これから生まれてくる人たちも豊かで安心した生活を続けていくためにはどうしたら良いかを考え、行動する人を増やそうという世界的な取組の事です。